

CentreCOM AR160 GUI 設定ガイド

AR160(以下本製品)では、ファームウェアバージョン 2.3.2 より Web ブラウザを使った GUI による設定がサポートされました。本マニュアルでは、GUI による設定方法について解説します。

概要

画面の指示にしたがって必要事項を入力していくことにより、接続方法に対応した基本的な設定を作成することができます。

よりきめ細かい設定を行いたい場合は、GUI により作成された設定内容に対して、コンソールターミナルから変更、追加することもできます。

● 対応ブラウザ

- Microsoft Internet Explorer 5.x/6.x(6.x は Windows 版のみ)
- Netscape 6.x

● GUI で可能なこと

GUI では以下の設定、および操作が可能です。

初回起動時

以下の設定の新規作成

- インターネット接続
 - (PPP I/F: IP 自動取得 /Numbered)
 - 「インターネット接続」設定では、ISP などにダイヤルアップで接続する最も基本的な構成の場合の設定を行います。
- リモート LAN 接続
 - (PPP I/F: Unnumbered)
 - 「リモート LAN 接続」設定では、インターネットには接続しないで、ISDN ダイヤルアップ接続により 2 つの LAN を接続する LAN 型接続構成の設定を行います。
- インターネット接続 & リモート LAN 接続
 - (2 箇所同時接続設定)
 - 「インターネット接続 & リモート LAN 接続」設定では、インターネットとリモート LAN に同時に接続できる設定を行います。
- 専用線接続
 - 「専用線接続」設定では、専用線(64K/128K)を使用して、2 拠点間を接続する場合の設定を行います。

2 回目以降

- 設定の編集
 - 既存設定の変更、追加
- モニタリング
 - LAN/WAN 側インターフェースのパケット数の計測
- 接続テスト
 - 作成した設定の接続試験
- システム管理
 - コマンド実行、設定初期化

操作方法

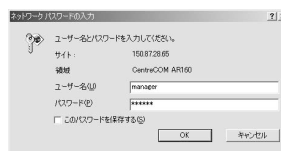
1 GUI へのアクセス方法

Web ブラウザで、本製品に設定された IP アドレスにアクセスします。

本製品は初期状態では以下の IP アドレスが設定されています。また、本製品自体の DHCP サーバ機能も有効になっているので、初期状態から設定される場合は、クライアントマシンを DHCP クライアントとして設定して本製品にアクセスしてください。

・192.168.242.242/255.255.255.0

アクセスすると、本製品に設定されたログイン名(ユーザー名)とパスワードを入力する画面が現れます。



デフォルトのログイン名とパスワード

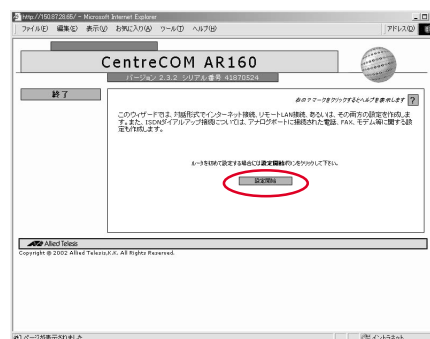
ログイン名	manager
パスワード	friend

なお、GUI ツールの起動時点では、GUI による設定が初めてか、過去に GUI による設定を行ったことがあるかによって、表示される画面が異なります。

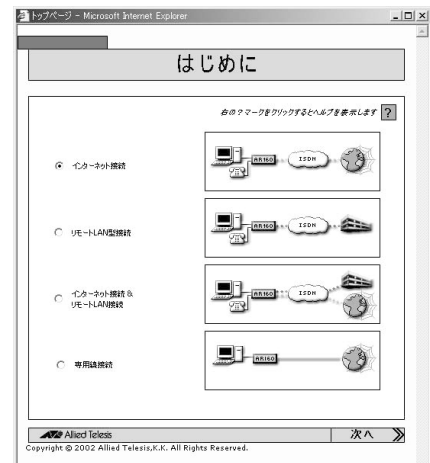
GUI による設定が初めての場合「設定開始」の画面が、過去に GUI による設定を行ったことがある場合には「設定概要」の画面が表示されます。

2 初回起動時

はじめて GUI による設定を行うときには、まず起動画面上で「設定開始」をクリックします。



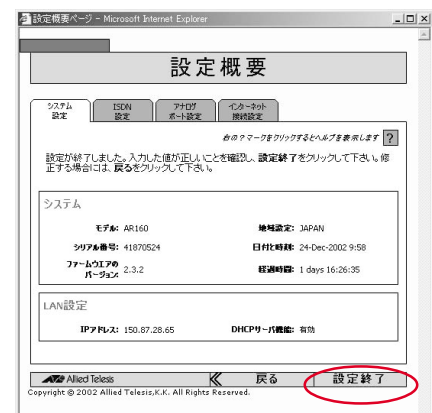
接続方法の選択画面が表示されます。



接続方法を選ぶと、接続に必要な設定項目が表示されます。画面の指示に従って、つぎつぎに設定していきます。この内容は、選択した接続方法ごとに異なります。これらの設定項目の詳細は以下の部分をご覧ください。

- インターネット接続に関しては、裏面、GUI 設定内容詳細の、「2 インターネット接続」をご参照ください。
- リモート LAN 接続に関しては、裏面、GUI 設定内容詳細の、「3 リモート LAN 接続」をご参照ください。
- インターネット接続 & リモート LAN 接続に関しては、裏面、GUI 設定内容詳細の、「4 インターネット接続 & リモート LAN 接続」をご参照ください。
- 専用線接続に関しては、裏面、GUI 設定内容詳細の、「5 専用線接続」をご参照ください。

必要な項目をすべて設定すると、確認画面が表示されます。



「設定終了」をクリックすると、2回目の起動時以降に表示される「設定概要」画面が表示されます。



3 2回目以降

過去にGUIによる設定が行われている場合には、設定の表示や変更追加、テストなどを行う画面が表示されます。

● 設定概要

本製品の現在の設定を表示します。

- ・「システム設定」
本製品のシステム設定について表示します。
- ・「接続方法別の設定」
現在設定されている接続方法によって、表示されるタブの内容は異なります。



● 設定編集

本製品の設定を編集します。

- ・「システム設定」
本製品のシステム設定を編集します。
- ・「LAN設定」
本製品のLAN側設定を編集します。
- ・「接続方法別の設定」
現在設定されている接続方法によって、表示されるタブの内容は異なります。



● モニタリング

LAN およびインターネットや専用線のトラフィックの累積情報の確認が可能です。また、インターネット接続制限のリセットも可能です。



● 接続テスト

現在の設定による接続を実際にテストします。テスト結果として、ISDNの状態、設定した接続の状態が表示されます。



● システム管理

- ・コマンド実行
本製品に対して、コマンドを入力、実行し、結果を表示します。
- ・初期化
本製品を工場出荷時設定に戻します。
- ・再設定
GUIによる設定内容を破棄し、設定をやりなおします。



オンラインヘルプ

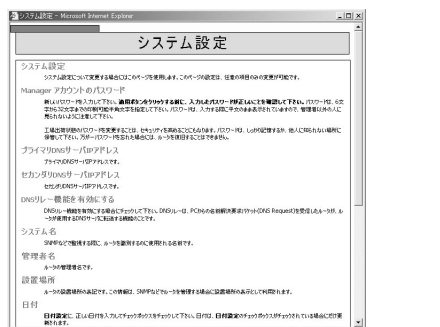
画面上の **?** をクリックすると、次のヘルプウィンドウが別ウィンドウでポップアップ表示されます。



ヘルプウィンドウ右側フレームの「項目ヘルプ」をクリックし、設定ウィンドウ上で、各項目の上にマウスポインタを移動すると、ヘルプウィンドウ左側フレームに該当項目のヘルプが表示されます。



ヘルプウィンドウ右側フレームの「全体表示」をクリックすると、現在表示中の設定内容全体に関するヘルプウィンドウが表示されます。



なお、GUIの文字コードはUTF-8で作成されています。ヘルプを開いたときに、文字化けが発生した場合は、そのフレームの文字エンコードを「UTF-8」に設定してください。

設定ファイル

GUIツールによって設定を作成した場合、以下の2つのファイルがフラッシュメモリ上に作成されます。

- ・gui.cfg
GUIツールによって作成された設定ファイル
- ・config.gui
GUIツールで設定を作成したことを示すファイル

すなわち、gui.cfgが存在しても、config.guiが存在しなければ、設定の新規作成の画面が表示されます。

また、config.guiが存在し、gui.cfgが存在しない場合には、設定の編集画面が表示されますが、(デフォルト値を除く)すべての項目は空欄の状態になっています。

なお、GUIツールによる設定を行うと、gui.cfgがデフォルトの設定ファイルとなります。

CentreCOM AR160 GUI 設定内容詳細

AR160(以下本製品)のGUIによる各接続設定において、可能となる設定項目について記載しています。

これらすべての項目について、設定が必須となるわけではありません。

また、設定項目によっては、初回起動時には設定できず、すでに設定がある2回目以降起動時の「設定編集」からのみ設定できるものがあります。

括弧()内は、選択できる内容を示します。

1 ISDN 共通設定

ISDNによる接続を行う、「インターネット接続」「リモートLAN接続」「インターネット&リモートLAN接続」における、共通の設定項目です。

① アナログポート設定

アナログポートに関する基本的な設定を示します。

- ・INS 付加サービス
[基本 ISDN サービスのみ利用する /
i ナンバーサービスを利用する /
ダイヤルインサービスを利用する]
- アナログポート番号
 - ・電話番号の数
[1つだけ利用する /
2つの番号を使用する]
 - ・電話番号(ポート 1/2)
 - ・鳴り分け着信音パターン
[1/2/3]

② アナログポート設定 - アナログポート 1/2

アナログポート、1、2に対してそれぞれ個別に設定できます。

- 基本設定
 - ・端末属性
[電話 / FAX またはモデム]
- 着信設定
 - ・サブアドレスチェック
[チェックしない /
一致したときに着信 /
どんなサブアドレスでも着信 /
サブアドレスがない場合着信]
 - ・サブアドレス
- 着信転送
 - [着信転送無効 /
AR160の着信転送機能を有効]
着信転送機能を有効にした場合、以下の条件および着信転送待ち時間を設定できます。
[応答なし /
話中 /
即時 /
話中または応答なし]

③ ISDN 設定

- ・ISDN 番号
複数のISDN機器を接続する場合に、本製品

自身のISDN番号を2つまで設定できます。

○ コールバンピング

2回目以降起動時のみ設定できます。

- [コールバンピングを使用しない /
音声、データ通信による着信時に
1Bch ダウン /
音声による着信時のみ 1Bch ダウン]

2 インターネット接続

① アナログポート設定

「ISDN 共通設定項目」参照

初回設定時にはアナログポート設定は必須項目です。利用されない場合も適当な値を設定する必要があります。

② アナログポート設定 - アナログポート 1/2

「ISDN 共通設定項目」参照

③ ISDN 設定

「ISDN 共通設定項目」参照

④ インターネット接続設定

インターネットプロバイダー(ISP)に関する設定をします。

- ・アクセスポイントのISDN番号
- ・PPP ダイアルアップユーザ名
- ・PPP ダイアルアップパスワード
- ・PPP インターフェースのIPアドレス設定
[自動取得 / 固定設定]
- ・マルチリンク
 - 2回目以降起動時のみ設定できます。
[有効 / 無効]
 - ・2Bch をアップする閾値(秒、%)
 - ・2Bch をダウンする閾値(秒、%)
- ・データ圧縮
 - 2回目以降起動時のみ設定できます。
[OFF / Stac LZS]
- ・自動切断時間(秒)
 - 2回目以降起動時のみ設定できます。

⑤ インターネット接続制限

制限値に達したとき、情報をリセットするまで接続できなくします。

- 制限値
 - さまざまな接続制限を設定できます。
 - ・接続時間によるリミット(時間)
 - ・累積課金料金によるリミット(円)
 - ・受信データ量によるリミット(Mbyte)
 - ・送信データ量によるリミット(Mbyte)
 - ・送受信データ量によるリミット(Mbyte)
- 課金管理
 - 制限を計算するための、基本的な値を設定します。
 - ・最小課金単位時間(秒)
 - ・最小課金単位料金(円)

・課金単位時間(秒)

・課金単位料金(円)

○ 累積情報リセット設定

- [自動リセットしない /
1ヶ月ごとにリセット(日付指定) /
1週間毎にリセット(曜日指定) /
毎日リセット]

⑥ リモートLAN 接続の追加

2回目以降起動時のみ追加できます。

この設定を行うことにより、本製品は「インターネット接続&リモートLAN接続」方式に設定されます。

3 リモートLAN 接続

① アナログポート設定

「ISDN 共通設定項目」参照

初回設定時にはアナログポート設定は必須項目です。利用されない場合も適当な値を設定する必要があります。

② アナログポート設定 - アナログポート 1/2

「ISDN 共通設定項目」参照

③ ISDN 設定

「ISDN 共通設定項目」参照

④ リモートLAN 接続

リモートLANに対する設定をします。

リモート接続先は1ヶ所のみ設定が可能です。多拠点接続の設定は、コマンド形式で行う必要があります。

- ・リモートLANのISDN番号
- ・ユーザ名
リモートLANに接続するためのユーザー名を設定します。
- ・パスワード
リモートLANに接続するためのパスワードを設定します。
- ・リモートユーザ名
リモートLANから本製品に接続するためのユーザー名を設定します。使用できるのは、半角英数字のみです。この値は省略できないので、接続される予定がない場合にも、入力が必要です。
- ・リモートユーザパスワード
リモートLANから本製品に接続するためのパスワードを設定します。使用できるのは、半角英数字のみで6文字以上です。この値は省略できないので、接続される予定がない場合にも、入力が必要です。
- ・PPP インターフェースのIPアドレス設定
[自動取得 / 固定設定]

- ・マルチリンク
 - 2回目を以降起動時のみ設定できます。
 - [有効 / 無効]
 - ・2Bch をアップする閾値(秒、%)
 - ・2Bch をダウンする閾値(秒、%)
- ・データ圧縮
 - 2回目を以降起動時のみ設定できます。
 - [OFF/Stac LZS]
- ・自動切断時間(秒)
 - 2回目を以降起動時のみ設定できます。
- ・コールバック
 - 2回目を以降起動時のみ追加できます。
 - [有効 / 無効]
- リモート LAN のアドレス
 - 2回目を以降起動時のみ追加できます。
 - ・ネットワークアドレス
 - ・ネットマスク

⑤ インターネット接続の追加

- 2回目を以降起動時のみ追加できます。
 - この設定を行うことにより、本製品は「インターネット接続&リモートLAN接続」方式に設定されます。

4 インターネット接続 & リモートLAN接続

① アナログポート設定

「ISDN 共通設定項目」参照

- 初回設定時にはアナログポート設定は必須項目です。利用されない場合も適当な値を設定する必要があります。

② アナログポート設定 - アナログポート 1/2

「ISDN 共通設定項目」参照

③ ISDN 設定

「ISDN 共通設定項目」参照

④ インターネット接続設定

- インターネットプロバイダー(ISP)に関する設定をします。
 - ・アクセスポイントのISDN番号
 - ・PPP ダイアルアップユーザ名
 - ・PPP ダイアルアップパスワード
 - ・PPP インターフェースのIPアドレス設定
 - [自動取得 / 固定設定]
 - ・マルチリンク
 - 2回目を以降起動時のみ設定できます。
 - [有効 / 無効]
 - ・2Bch をアップする閾値(秒、%)
 - ・2Bch をダウンする閾値(秒、%)
 - ・データ圧縮
 - 2回目を以降起動時のみ設定できます。
 - [OFF/Stac LZS]
 - ・自動切断時間(秒)
 - 2回目を以降起動時のみ設定できます。

⑤ インターネット接続制限

- 制限値に達したとき、情報をリセットするまで接続できなくします。
 - 制限値
 - さまざまな接続制限を設定できます。
 - ・接続時間によるリミット(時間)

- ・累積課金料金によるリミット(円)
- ・受信データ量によるリミット(Mbyte)
- ・送信データ量によるリミット(Mbyte)
- ・送受信データ量によるリミット(Mbyte)
- 課金管理
 - 制限を計算するための、基本的な値を設定します。
 - ・最小課金単位時間(秒)
 - ・最小課金単位料金(円)
 - ・課金単位時間(秒)
 - ・課金単位料金(円)
- 累積情報リセット設定
 - [自動リセットしない / 1ヶ月ごとにリセット(日付指定)/ 1週間毎にリセット(曜日指定)/ 毎日リセット]

④ リモートLAN接続

- リモートLANに対する設定をします。
 - リモート接続先は1ヶ所のみ設定が可能です。多拠点接続の設定は、コマンド形式で行う必要があります。
 - ・リモートLANのISDN番号
 - ・ユーザ名
 - リモートLANに接続するためのユーザー名を設定します。
 - ・パスワード
 - リモートLANに接続するためのパスワードを設定します。
 - ・リモートユーザ名
 - リモートLANから本製品に接続するためのユーザー名を設定します。使用できるのは、半角英数字のみです。この値は省略できないので、接続される予定がない場合にも、入力が必要です。
 - ・リモートユーザパスワード
 - リモートLANから本製品に接続するためのパスワードを設定します。使用できるのは、半角英数字のみで6文字以上です。この値は省略できないので、接続される予定がない場合にも、入力が必要です。
- ・マルチリンク
 - 2回目を以降起動時のみ設定できます。
 - [有効 / 無効]
 - ・2Bch をアップする閾値(秒、%)
 - ・2Bch をダウンする閾値(秒、%)
- ・データ圧縮
 - 2回目を以降起動時のみ設定できます。
 - [OFF/Stac LZS]
- ・自動切断時間(秒)
 - 2回目を以降起動時のみ設定できます。
- ・コールバック
 - 2回目を以降起動時のみ追加できます。
 - [有効 / 無効]

⑤ リモートネットワークの登録

- リモートLANのネットワークを設定します。
 - ・ネットワークアドレス
 - ・ネットマスク

5 専用線接続

- ・回線種別
 - 2回目を以降は変更できません。変更したい場合

- は設定をやり直してください。
 - [64K/128K]
- ・PPP インターフェース
 - ・IP アドレス
 - ・ネットマスク
- ・NAT 機能
 - [使用する / 使用しない]
- ・データ圧縮
 - 2回目を以降起動時のみ設定できます。
 - [OFF/Stac LZS]

6 システム設定

本製品のシステム設定を行います。

- 2回目を以降起動時のみ設定できます。

○ システム全体

- ・Manager アカウントのパスワード
- ・プライマリ DNS サーバアドレス
- ・セカンダリ DNS サーバアドレス
- ・DNS リレー機能
 - [有効 / 無効]

○ ルータ管理情報

- ・システム名
- ・管理者名
- ・設置場所

○ 日付と時刻

この「システム設定」ページが表示された日付と時刻が表示されています。変更する場合は、それぞれ「日付指定」「時刻指定」のチェックボックスをチェックしてから、適応をクリックします。

チェックがない場合は変更されません。

- ・日付
- ・時刻

7 LAN 設定

本製品のLAN側(eth0)の設定をします。

- 2回目を以降起動時のみ設定できます。

- ・IP アドレス
- ・ネットマスク
- ・DHCP サーバ機能
 - [有効 / 無効]

おことわり

- ・本書は、アライドテレシス株式会社が作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- ・予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- ・改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
- ・本装置の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

Copyright © 2003 アライドテレシス株式会社

商標

CentreCOMは、アライドテレシス株式会社の登録商標です。

マニュアルバージョン

2003年1月 Rev.A 初版